

平成29年度

企画調整課事務報告

企画調整係

商工観光係

情報通信係

○事業成果の概要（企画調整課）

日本政府は、地方創生の一層の推進を図るため、「ローカル・アベノミクス」の推進、東京一極集中の是正、地方創生の更なる深化に向けた政策の推進、地方創生版・3本の矢などを政策の柱に、意欲的に取り組む自治体を積極的に支援する施策を展開している。

本村においては、平成27年11月に策定した「山江村人口ビジョン」及び「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる数値目標の実現に向け、各種事業を実施した。

平成28年度補正予算、地方創生拠点整備交付金を活用し、「日本遺産」に認定された人吉球磨の有名無形文化材（相良三十三観音）の一つである合戦峰観音堂の周辺を整備することにより、地域観光交流の拠点とすることを目的に『合戦峰地区物産販売所整備事業（日本遺産ブランド確立連携事業）』を実施した。物産販売所の整備については、設計に不測の日数を要した他、資材等の高騰による積算見直しが重なったため、事故繰越として、平成30年度完成となっている。

また、地方創生の歩みを確実に進めるため、地域資源を活用した産業創出を目的とする『山村活性化支援交付金事業』が最終年度の3年目を迎え、やまえ栗の海外への認知度向上・販路開拓を目的として、栗加工品等をフランスで開催された日本食展へ出展したのをはじめ、多言語化に対応したコンテンツサイトの開設、海外向けパッケージデザイン開発などを実践した。

平成28年1月に開所した『山江村地域づくり研究所』では、研究分野として、東京大学との共同研究を行うほか、ICT分野では、情報化推進員を各区に設置し、いち早く情報提供・収集ができる活動に取り組んでいる。人づくり分野では、住民参画による村づくり組織『100人委員会』の各部会での活動が活発化し、食の提供部会では、「トキの朝市」を開催されたのをはじめ、多くの部会で活動内容が具現化した。

このほか、再生可能エネルギーの活用について、バイオガス発電に係るポテンシャル調査の実施をはじめ、移住・定住対策事業として、堂園地区に宅地分譲地3区画を整備するとともに、昨年度完成した体験型宿泊施設の運用を開始した。

企画調整係

1. 地方創生推進事業

平成27年11月に策定した「やまえ・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標達成に向け、地方創生拠点整備交付金（H28繰越）を活用し各事業を展開した。合戦峰物産販売所の建築については、設計協議に不測の日数を要したため、平成30年度へ事故繰越を行い、完成・運用予定とする。

今年度も地方創生に資する施設整備等の取組を進めるため、地方創生拠点整備交付金の申請を行い、やまえ栗加工施設生産向上プロジェクト（栗加工施設の整備）を次年度実施する。

併せて、まち・ひと・しごと創生に資する事業を推進するため、地方創生推進交付金の申請を行い、次年度事業を実施する。

(単位：円)

No	事業名	施工(委託)業者	金額(税込)	期間	備考
1	合戦峰地区物産販売所設計業務委託	(株)限研吾建築都市設計事務所	1,512,000	H29.5.24～ H29.11.15	
2	合戦峰地区物産販売所地質調査業務委託	南九調査開発(株)	496,800	H29.8.25～ H29.9.8	
3	合戦峰地区駐車場造成工事	エムアイ(株)	11,401,763	H29.5.25～ H29.8.31	
4	合戦峰地区物産販売所建築工事	(株)岩井工務店	29,376,000	H29.12.14～ H30.3.16	事故繰越 (H30 実施)

○山江村総合戦略検証委員会の開催

期日：平成29年9月1日

備考：検証委員13名中、11名出席

2. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行った。

(単位：円)

No.	対象必須工事	工事額 (税込)	交付決定額
1	段差解消	361,800	72,000
2	段差解消	1,516,320	200,000

3. 企業誘致及び工業用地等造成事業

人吉・球磨企業誘致連絡協議会の活動

人吉・球磨の10市町村が、企業誘致に関する情報を交換し、また、連携して企業誘致を推進することにより、人吉・球磨地域における雇用の場を創出することを目的として活動を実施した。

【平成29年度の活動実績】

- 運営委員会の定例会を毎月開催（11回）
- 熊本県企業立地課との意見交換会の実施
- 人吉球磨の誘致企業見学（共栄精密株式会社、ヒストリアテラス五木谷、伸和コントロールズ株式会社）
- 中小企業テクノフェア in 九州2017でのアプローチ
- 新価値創造展2017及び産業交流展でのアプローチ

4. 再生可能エネルギー事業

球磨人吉地域の畜産業及び酒造業等から発生するバイオマス資源を活用したメタンガス発電を行うことで、地産地消の持続可能なエネルギー社会を構築することを目的とし、調査検討業務を行った。

- バイオガス発電燃料のポテンシャル詳細調査業務 4,212,000円
- バイオガス発電設備詳細検討業務 4,968,000円
- 太陽光発電システム設置費補助金 100,000円(50,000円*2件)

5. 広報やまへの発行

「広報やまへ」は、住民へ山江村の政策や住民サービス情報、村内の話題等を伝えることを通じて、住民と行政のパイプ役として重要な役割を果たしている。また、村外にいる山江出身者へも故郷の状況を伝える役目も担っている。

現在、広報誌の内容はホームページ上でもPDF形式により掲載しており、全世界から山江村の広報を閲覧することも可能。購読希望者へは有料で送付している。

- 事業費 3,162,252円(印刷・製本)
- 発行部数 1,400部/1カ月
- 発行日 毎月第4金曜日
- 村外購読者数 19名

6. 統計調査業務

(1) 学校基本調査

基準日：平成29年5月1日

(2) 平成29年工業統計調査

基準日：平成29年6月1日

(3) 平成29年就業構造基本調査

基準日：平成29年10月1日

(4) 平成29年度市町村民経済計算

調査対象年度：平成27年度

7. ふるさと山江村定住奨励記念品贈呈

定住を奨励することを目的として、村内に住宅を新たに建設又は購入し、村に転入した者に対し歓迎の意を込め記念品を贈呈した。

- 「ほたる米」引換券12枚(240kg分)を贈呈：2件

8. 山江村ふるさと応援寄附

【寄附金内訳】 平成29年4月～平成30年3月寄附

	寄附者の寄附金希望使途事業	金額
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	722,600円
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	420,000円
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	630,000円
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	590,000円
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	290,000円
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	180,000円
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	8,740,000円
	合 計 (825件)	11,572,600円

9. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

○国土利用計画法第23条第1項による届出件数 (10,000㎡以上)

届出件数：なし

10. 番号制度に係る各種システム改修及びセキュリティ強化対策

平成27年10月5日より番号法が施行されたことに伴い、各種基幹系システムの改修を行った。また、平成29年7月より本格始動した情報連携開始に向けて市町村間での総合運用テスト等の事前準備を行った。併せて、マイナポータルと子育てワンストップサービスも本格運用となった。

セキュリティ強化として、マイナンバーによる情報連携に活用される LGWAN 系とインターネット系を分離し、基幹系からの情報持ち出し不可設定等を図り、住民情報流出防止対策など市内ネットワークの三分割や二要素認証によるログインなどの対策を実施した。

また、熊本県自治体情報セキュリティクラウドサービス (i-F i l t e r) を利用することにより、高いレベルでのセキュリティサービスを受けている。

11. 山江村移住定住促進事業

平成29年度は、人口減少及び少子化対策の一環として、堂園地区に宅地分譲地(3区画分)を造成した。

○堂園地区宅地造成事業

- ・堂園地区宅地造成工事測量設計委託 1,836,000円
- ・堂園地区分譲地造成事業地質調査業務委託 1,188,000円
- ・堂園地区宅地分譲地造成工事 28,811,125円

○山江村移住定住促進委員会の開催(1回)

○移住相談会への参加(会場:大阪府・福岡県)

12. 山江村地域づくり研究所

地域づくり研究所は、山江村の情報をあまねく集め、データ化することで、誰にでも現状の見える化を図り、地域の課題を解決する調査・研究や提言を行うことや、村民生活のあらゆる分野においてICTを活用することで、安心安全な暮らしや、福祉の向上、産業振興による所得の向上、雇用の創出を進める。また、山江村未来塾100人委員会など、村民が主役となる地域づくりの実践活動を支援するため、平成28年1月22日に開設した。

東京大学大学院情報学環須藤研究室とICTの活用についての共同研究に取り組んでおり、民間・大学・行政の連携の中に、新たな村づくりを進める。

① 東京大学との共同研究

共同研究負担金:6,997,320円

研究結果

- ・山江村地方創生情報化戦略の進捗状況報告書
- ・やまえ栗の公式ガイドブック
 - やまえ栗の一年(32ページ)
- ・マロンブレンドの開発サポート
- ・地域づくり研究所のホームページ管理
- ・和栗ライブラリーの提案とサポート
- ・セミナーの開催

H29.7.22 チラシ作成セミナー

H29.9.16 写真の撮り方

H29.12.23 POP(商品紹介カード)の作り方

H30.3.10 写真編集の仕方

② 研究分野

- ・村が作成する計画への政策提言
- ・山江村のデータ収集

事務報告、観光統計、山江村総合振興計画、高齢者福祉計画、熊本県市町村要覧、栗に関する書籍、栗のレシピ、新聞記事、昔の山江村の写真等

③ ICT 分野

- ・情報発信と閲覧分析

HP、Youtube

HP管理(山江村役場、山江村地域づくり研究所、山江村アーカイブス、移住定住、山江村フットパス、やまえ栗)、Youtube(山江村地域づくり研究所、山江村ケーブルテレビ、山江村フットパス)

SNS

Facebook 管理(山江村、山江村地域づくり研究所、山江村未来塾100人委員会、やまえ栗まつり、山江フットパス)

紙面

山江村地域づくり研究所通信 NO.5～NO.7

山江はスーパービレッジでした(山江村政策パンフレット)

- ・バーチャルリアリティ映像の製作

サイト Roundme へ山江村の360度写真の掲載21枚

<https://roundme.com/@kawaguchi>

- ・情報化推進員

村内16地区中、12地区に1名ずつ設置。地域の出来事や困りごとなどインターネットを使って情報を共有する。

- ・村政モニター

住民ニーズや山江村に関するアンケートにインターネットを利用して回答。

平成29年度 3回実施

④ 人づくり分野

・山江村未来塾の開催

住民参画によるむらづくりを進める中に ICT を活用することで、村民の幸福度を向上させることを目的として開催した。

開催日：平成29年6月18日（日）

内容：・100人委員会活動報告

・住民参画によるむらづくり

早稲田大学 宮口侗廸 名誉教授

・パネルディスカッション

・100人委員会

山江村未来塾の考え方をもとに、住民が主体となり、農業ブランド化、観光・文化、環境・防災、福祉、教育・人材育成の5分野において9部会が発足し、分野別に夢や希望、村づくりについて協議した。

運営支援業務委託：1,987,200円

全体会 1回

部会会議 62回

・地域づくり活動補助金

補助金(総額)：700,761円（5団体）

・人材バンク

個人の持つ能力を村内で活用できるように登録制の「人材バンク」を設置
(9名登録)

○100人委員会 部会ごとの活動目標

部会	活動の具体的内容	会員
① 若手農業者部会 部会長:松本聖司 書記:秋丸大輔	・若手農業者による共同栽培及び勉強会 ・給食用食材の栽培(栽培地 梅ノ木地区) 12月たまねぎ植付、2月じゃがいも植付	5人
② やまえ栗ブランド 部会長:久保田武久 書記:田山雄貴	・品質管理、栽培管理、後継者問題への対応策 ・栗栽培マニュアルの作成と普及活動 ・やまえ栗まつりへの「ぼろたん」の試食普及活動 ・2/15 研修実施(宇城優良園地、アントルメ果樹)	8人
③ 観光・交流 部会長:田村四郎 書記:中竹浩之	・山江村観光ガイドの育成(ガイド本作成) ・ボンネットバスの観光活用(モニターツアー) 9/25 栗拾いツアー(参加者 21名) 10/29 隠れ念仏ツアー(参会者 9名) ・2/24 水俣頭石(村まるごと生活博物館)研修	12人
④ 食の提供 部会長:山北早織 書記:尾方恵美	・4/23 トキの朝市の開催(来場者 200名) ・9/24 やまえ栗まつりへの出店 ・10/29 トキの朝市の開催(来場者 50名)※台風	11人
⑤ 情報発信 部会長:山本浩己 書記:藤本一彦	・子育てにやさしい村のPR動画の撮影 現在編集中	7人
⑥ 環境・防災 部会長:横山浩之 書記:山本征治	・川遊びや森の遊び場づくり ・12/21 熊本市内のボルダリング施設研修	14人
⑦ 福祉 部会長:川内孝之 書記:深水久美子	・高齢者がイキイキと働く場づくり ・10/29 トキの朝市で高齢者の技の一品を取りまとめ販売	12人
⑧ 健康・スポーツ 部会長:谷川正晃 書記:藤田雄哉	・救急・救命法のビデオ作成	6人

<p>⑨ 文化・教育</p> <p>部会長:横山理恵</p> <p>書記:吉川和子</p>	<p>・「やまえの花まつり」の絵本づくり</p>	<p>8人</p>
---	--------------------------	-----------

商工観光係

日本経済は、アベノミクスの取組の下、緩やかな回復基調を続けている。少子高齢化・人口減少が進む中で、人手不足感を克服し、持続可能な経済成長につながるためには、働き方改革と新技術の導入を同時に進め、生産性の向上と多様な人材の労働参加を図ることが大きな課題である。

平成28年4月に発生した熊本地震からの復旧・復興は急ピッチで進められ、一部業種においては、慢性的な人手不足の状態にあるなど、復興特需もあっている。

このような中、本年度で3年目を迎えたプレミアム付き商品券の発行については、山江村商工会にて事業を実施しているが、村内事業所へ23,935,500円の経済効果が生まれた。

また、熊本地震の影響で中止した「やまえつつじ祭り」を2年ぶりに開催。例年になくつつじの開花が遅れ、サクラの花が咲く中での祭りとなったが、多くの人出で賑わいをみせた。

一方、昨年度より会場を役場前広場・体育館へ移した「やまえ栗まつり」については、スイーツフェスタと生栗販売、ゆるキャラのお披露目や生栗掴み取りなど、ステージ内外でのイベントの充実やPR効果も相まって、昨年を大きく上回る8,500名の来場があり、過半数は、県外からの来場でもあったため、やまえ栗並びに山江村をアピールする場にもなったのではないかと思われる。

昨年度、黒字決算となった山江温泉「ほたる」・山江村物産館「ゆっくり」の経営状況は、昨年度に引き続き黒字決算となった。しかしながら、累積赤字が若干残っているため、次年度以降も経営改善に取り組んでいく。

このほか、特産品の販路拡大を推進するため、特産品等の出展に係る助成、ボンネットバスを活用してのイベント等参加を行った。

最後に、山江村の観光交流に係る団体が情報を共有し、山江版「DMO」の実現に向けた「山江村観光交流促進協議会」を来年度設立するための準備作業も行った。

1. イベント

①やまえつつじ祭り

昨年度は、熊本地震の発生により中止したが、今年度は2年ぶりに開催。

ホームページ等に丸岡公園のつつじの開花状況を情報発信し、つつじの名所の魅力と山江村の良さをアピールするとともに、祭りによる交流人口拡大を目指すことを目的としている。

■期日:平成29年4月15日(土)～16日(日)

■場所:丸岡公園一帯(四半的弓道大会:山江村体育館)

■内容:紅白もち投げ、クイズラリー、ヤマメのつかみ取り、演芸大会、抽選会

キャラクターショー

■事業費:2,781,893円

②やまえ栗まつり(第13回)

主要産業である「栗」を活用したイベントを実施し、やまえ栗のブランド力向上をはじめ、生産意欲の高揚や6次産業化を加速させ、販路拡大、交流人口の増加を図ることを目的に開催。昨年度実施したスイーツフェスタの反響、TV出演をはじめとするPR効果もあったことから、8,500人を超える来場者であった。また、熊本県から小野副知事のご出席をはじめ、くまモンも登場し、イベントに花を添えていただいた。

■期日:平成29年9月24日(日)

■場所:山江村役場前広場

■出店:やまえ栗スイーツ出店19店舗、村内バザー出店16店舗

■内容:やまえ栗スイーツフェスタ、やまえ栗展示、やまえ栗の販売、栗の掴み取り

イガ投げ風船割り、ボンネットバスドライブ、ゆるキャラお披露目、フォト・

ムービーコンテスト、くまモンサプライズ、JAZZ演奏 など

■事業費:4,599,554円(うち熊本県夢チャレンジ事業補助金2,114,000円)

○やまえ栗まつり やまえ栗スイーツ一覧

番号	店名	住所	商品名 1	商品名 2	商品名 3
1	アントルメ菓樹	熊本市東区	里山モンブラン	利平栗モンブラン	岳間茶のモンブラン
2	メゾン・ド・キタガワ	熊本市南区	山江マロンパイ	山江リング	山江モンブラン
3	菓子屋 木いちご	菊陽町	モンブラン	アイス	パウンド
4	ラッキーランチ	人吉市	マロンカシス	マロンパイ	マロンシュー
			ギオン	マロンショコラ	パルケットマロン
5	ケーキ工房 ポエム	人吉市	山江栗のロールケーキ	モンブラン	ショコラマロンタルト
			抹茶マロンショート		
6	町屋旅館 一富士	人吉市	栗～inむブリュレ	茶栗ようかん	kurin
7	那須宝来堂	多良木町	焼酎カステラ	渋皮万十	渋皮パイ
8	庄籠製菓舗	湯前町	栗どらやき	ふわふわ巻き	
9	川辺製菓本舗	多良木町	マロンパイ	栗のチョコドーナッツ	ロールケーキ
			栗ドラ		
10	プチ・シュン	熊本市東区	モンブラン	マロンパイ	マロンロール
11	Komorebi	熊本市東区	パウンド	ガレット	ドゥミマロン
12	かしの季	菊陽町	モンブラン	フィナンシェ	
13	濱田屋本舗	人吉市	栗まんじゅう	栗入りどら焼き	マロンパイ
			和風モンブラン		
14	ナチュラル	人吉市	焼きモンブラン	栗のショートケーキ	マロンロール
			ボンボンマロン	栗のフィナンシェ	
15	菓子工房KANEKO	あさぎり町	ケーキセット		
16	あゆの里	人吉市	くりりアイス	くりりもなか	
17	兼田製菓舗	湯前町	黒糖栗カステラ	モンブラン	栗コロソ
			モンブランプリン		
18	まめこや	人吉市	ウイナーコーヒー		
19	山江村物産館ゆっくり	山江村	渋皮煮マロンパイ	美栗ようかん	

2. 観光振興事業

本村は観光拠点となる施設及び多くの資源に恵まれた環境にある。人々の交流促進、経済の活性化、観光の振興にはどうしても情報の発信が必要不可欠である。

都市部での催事等に参加し、本村の魅力や観光等のPRを実施。また、各種情報媒体を可能な限り駆使し、観光宣伝活動を実施した（テレビ、ラジオ番組、新聞、雑誌掲載、ホームページ、SNS等）。

山江温泉「ほたる」と物産館「ゆっくり」については、昨年度に引き続き経営改善に努めた結果、2期連続での黒字決算となった。累積赤字解消に向け、更なる経営改革に取り組むよう支援・指導を行う。

■(株)やまえ

・山江温泉「ほたる」宿泊者数(人)

平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
2,693	3,839	3,976

・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数(人)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
山江温泉ほたる	84,873	85,930	88,093
物産館ゆっくり	60,756	41,554	41,886
計	145,629	127,484	129,979

・売上額(千円)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
202,596	206,098	197,613

・税引前当期純利益(千円)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
△8,199	10,001	10,901

・施設工事

工 事 名	工期	工事請負額
山江温泉「ほたる」高圧気中開閉器更新工事	7月26日～8月25日	1,188,000 円
山江温泉「ほたる」館内エアコン改修工事	10月3日～10月20日	1,645,193 円

3. 特産物振興関係

特産である栗を中心としながら、新たな特産物の開発や販売を行い、村民所得と山江村の認知度を向上させる取組みを行った。

最終年度となる3年目となった山村活性化支援交付金事業では、やまえ栗商品の海外販路開拓として、フランスで開催された日本食展に参加。現地バイヤーをはじめ、フランス人の方々にも高評価を得た。このほか、海外展開に伴うコンテンツサイトの多言語化、海外向けパッケージデザイン開発を行うとともに、国内外への販売戦略会議も開催した。栗以外の特産物振興として、ゆず商品のパッケージデザイン開発を実施した。

また、平成21年に「海山交流宣言」を交した対馬市においては、11月5日（日）に開催された「第30回いきいき豊玉産業祭」にて栗及び栗加工品等の物産販売を行い、栗まんじゅう588個、南瓜30kgを完売。特産品である栗を使用した加工品や地域産物等の評判も順調である。

対馬市からは平成24年度から毎年、産業振興まつりにおいて特産品の販売を実施していただいている。今後も更なる交流促進を検討する必要がある。

このほか、やまえ栗の公式マスコットとして「ゆるキャラ」の募集、着ぐるみの制作を行った。村内外でのイベントへの参加をはじめ、山江村及びやまえ栗のPR活動を行った。

(1) 山江村特産品等出店事業助成金交付実績

① 『秋のフードフェスタ』

期日:10月4日～8日

場所:宮城県仙台市青葉区一番町 4-8-15(仙台三越店)

出展物:栗まんじゅう、びっくり団子

② 『地方銀行フードセレクション』

期日:11月9日～10日

場所:東京都江東区有明 3-11-1

出店物:栗まんじゅう、びっくり団子、栗きんとん、柚子まるん

③ 『ニッポン全国物産展』

期日:11月17日～19日

場所:東京都豊島区東池袋(池袋サンシャイン)

出展物:栗まんじゅう、びっくり団子、柚子まるん、栗ようかん、渋皮煮包みパイ

(2)海山交流事業(対馬市)

①『30回いきいき豊玉まつり産業祭』

『ふれあい処つしま物産販売・山江コーナー開設』

期日:11月4日(土)から11月6日(月)

場所:長崎県対馬市

参加事業者:物産振興会、(株)やまえ

出店物:栗まんじゅう、米など

(3)山村活性化支援交付金事業

補助率10/10(9,369,898円) 総事業費9,369,898円

①やまえ栗コンソーシアム(栗商品販売戦略会議)の開催

②やまえ栗商品海外販路開拓

③やまえ栗コンテンツサイト多言語化

④やまえ栗商品海外パッケージデザイン開発

⑤ゆず商品パッケージデザイン開発

(4)ふるさと名物応援宣言

地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村が、地域を挙げて「ふるさと名物」を応援することを目的に、「やまえ栗の加工品群」についてその宣言を平成27年9月27日に実施した。この宣言を行ったことで、中小企業庁の地域資源活用事業計画補助事業を、優先的に採択される環境を整えている。

(5)ゆるキャラ募集、着ぐるみ制作

■募集方法:回覧、広報紙、CATV、新聞掲載、HP など

■応募総数:97点

■デザイン選考:選考会を実施し、最優秀賞1点・優秀賞2点を決定

■ゆるキャラ名:やまえくり平

■その他:第13回やまえ栗祭りにてお披露目

4. 内水面漁業振興に関すること

(1) ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚（やまめ）養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

(2) ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日：平成29年11月20日（月）

放流稚魚数：1,500匹 放流場所：万江川の各所

(3) 稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎30,000匹を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。

アユ放流負担金240,000円

放流日：平成29年4月10日（月）

5. グリーンツーリズム・交流事業

自然、歴史と文化、農林業など地域にあるものを見つめなおすとともに、その資源を活用しながらあるがままの山江村を体感することによって生まれる感動を根本とする交流活動を推進している。

村内団体により、下記のような交流活動が行われた。

団体名	内 容	期日等	備 考
NPOかちalinkやまえ	第14回万江川塾	8月26日	50名参加

6. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的にお互いの親睦を深め、情報を共有するために開催される。関東丸岡会へは、今年度作成したゆるキャラ「やまえくり平」も参加し、多くの参加者から好評を得た。

① 熊本丸岡会

期日:平成29年6月11日(日)

場所:熊本ホテルキャッスル

参加者:56名(会員43名、山江村から13名)

② 関東地区丸岡会

期日:平成30年2月4日(日)

場所:霞が関ビル35階 東海大学校友会館(東京都千代田区)

参加者:83名(会員60名、山江村から23名)

7. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9ヵ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。定期的に打合せ会議を開催し、イベントの企画を行った。

また、山江村社会福祉協議会主催によるアルペンローゼ(婚活支援事業)が展開されており、村としても「山江村婚活支援事業助成金交付要綱」を制定し参加費の一部支援を行っている。

開催イベント

●球磨郡9町村合同企画 クリスマスパティー

期日:平成29年12月2日(土)

場所:アンジェリーク平安(人吉市)

参加者:男性1人・女性0人

●アルペンローゼ

期日:平成30年2月10日(土)

場所:人吉市内

参加者:男性6人・女性0人

情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成22年4月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS放送・CS放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバによる高速インターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。

1 加入状況

ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成29年3月末	1,146	930件	81.15%	事業所等54件
平成30年3月末	1,148	938件	81.71%	事業所等54件

インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成29年3月末	1,146	248件	21.64%	事業所等10件
平成30年3月末	1,148	262件	22.82%	事業所等10件

加入状況を昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については8件の増となっており、加入率についても80%台を超え微増となっている。加入件数と新規の引込件数が増加し、新たにケーブルテレビに加入する世帯が増えている。

インターネットについては、加入件数が14件の増、加入率が1.18%の増となっており、年々増加している傾向にある。

2 ケーブルテレビ事業運営状況

(1) 使用料、手数料収入

○料金設定

- ・基本使用料:1,500円(セットトップボックス1台含む)

- ・セットトップボックス:1台 500円
- ・インターネット:2, 500円(一般世帯)、4, 000円(事業所等)
- ・無線ルータレンタル:100円

○収入済額

- ・使用料現年度分:24, 616, 600円
- ・使用料過年度分:667, 700円

(2)番組制作

○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりでお知らせする内容などを検討した。会議は2週間に1回行い年間26回の開催となった。

(毎週土曜日更新の15分番組)

○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組

(毎週土曜日更新の30分番組)

○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組

平成26年5月より放送を開始。

15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。

(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組

(不定期更新)

○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、ドキュメンタリー番組「やまえNOW」、健康体操

議会の生中継・録画放送、その他緊急放送

(3)機器操作等サポート

○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。

また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

○サポート内容

・主なサポート内容は次のとおり

テレビが映らない

- ・テレビの入力切替
- ・リモコンのスイッチ切替
- ・テレビやSTB等の電源が入っていない
- ・テレビの移動等による配線間違い

電話がつながらない

- ・電話機の故障
- ・告知端末の不具合
- ・ONUの不具合

インターネットがつながらない

- ・告知端末の不具合
- ・ONUの不具合
- ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。

※開局から7年が経過し、宅内機器の経年劣化による故障も目立ち始めている。

※機器交換など、専門性を要するものについては、業者と締結している保守の範囲内で実施している。

3 ケーブルテレビ業務委託事業

(1) 平成29年度ケーブルテレビ施設設備維持管理業務委託

事業理由: 情報格差の是正、難視聴地域の解消を目的に導入したケーブルテレビ事業の施設設備の維持管理を委託するもので、年間を通じた受信点設備・ケーブルテレビセンター設備保守点検・伝送路設備点検・伝送路保全工事を実施するもの。

委託業者: 熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費:4,219,776円

(2)平成29年度自主放送設備機器(コンバーター)更改業務

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から7年が経過し、センター内の自主放送設備機器不具合より、放送に支障をきたす事案が発生したため、緊急性を要するものとして実施した。

委託業者:福岡市博多区博多駅東2丁目3番1号

株式会社NTTフィールドテクノ 九州支店

取締役九州支店長 板坂 敏之

委託費:498,960円

(3)平成29年度山江村情報基盤通信機器更改業務

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から7年が経過し、センター内情報基盤通信機器を計画的に更新する必要がある。更新については、年次計画に基づき3年間(平成29年度～平成31年度)で実施する。

委託業者:福岡市博多区博多駅東2丁目3番1号

株式会社NTTフィールドテクノ 九州支店

取締役九州支店長 板坂 敏之

委託料:23,004,000円